

自立活動だより

山形県立山形聾学校自立活動部
平成29年12月15日（金）発行
第5号

補聴器の電池



電池は補聴器を動かすために必要な道具です。みなさんはその大切な電池についてどのくらい知っていますか？

現在使われている多くの補聴器用電池は**空気亜鉛電池**と呼ばれています。これは、空気を電池内に取り入れて、化学反応を起こして発電しています。電池のタブをはがすと、小さな穴がありますね。そこから空気を取り入れ、発電を開始します。

電池の寿命は、使用状況、補聴器の機種によって違います。自分の電池寿命がどれくらいかが分かっていると、日頃の生活で便利ですね。これからだんだん寒くなります。冬場の暖房器具などの使用で、室内の二酸化炭素濃度が上がると、電圧の低下が起こります。電圧が下がったままで使用しても電池寿命は短くなります。「冬は電池交換の時期が早いな」と思ったことはありませんか？

空気亜鉛電池のクイズにチャレンジ！

Q1 補聴器の電池は、どうやって発電するの？

Answer：① 空気と化学反応 ② 音と化学反応 ③ 手の汗と化学反応

Q2 電池のタブをはがしたあと、電池を何分おいてから補聴器に入れるといいよ！
さて何分でしょう？

Answer：① 3分 ② 30分 ③ 1分

Q3 どっちが正解？

Answer：① 電池は使用推奨期限まで長いものが良い。できるだけ新しい電池が良い。
② 電池は買ってから、時間が経ったものが補聴器には良い。

Q3 あなたの電池寿命は何日ですか？

日です。

これから寒い日が続きます。
自分が使う補聴器や電池の特性を知って、快適な冬を過ごしましょう。

